



10月の園だより

令和6年9月19日

第一早蕨幼稚園

園長 生田 増美



夏の名残で暑さの厳しい日もありますが、朝夕はさわやかな秋風を感じる日も増えてきました。子どもたちは気候にとっても敏感で、涼しい時間や涼しい場所を探して園庭に飛び出していきます。運動会を1か月後に控えて、グラウンドでは毎年恒例のリレーごっこが始まりました。子どもたちが張り切って挑戦する気持ち、仲間と心を合わせて取り組む楽しさを大切に過ごしていきます。ご家庭でも「楽しいね。頑張っているんだね」と応援をしてください。全員がそろって運動会当日を迎えられるよう、朝ご飯をしっかり食べ、早寝早起きをして、体調を整えるご協力をお願いします。清光学園100周年。これからも、心も体にも実り多い幼稚園生活になるよう、職員も力を合わせて頑張ります。



「ありがとうなんて言わなくていいんだよ！」

7月初旬、年少組保育室を覗くと何故かちゃんがカラー帽子を踏みつけて帽子の上でぴょんぴょん飛び跳ねています。しばらく様子を見ていましたが、終わる気配がありません。そろそろかなあと想着「Iちゃん、帽子が痛いて言ってるよ。ロッカーにしまってこようね」と声をかけました。突然声をかけられてびっくりしたのでしょう。帽子を踏んだまま、うつむいてしまいました。それを見ていた男児数人が、Iちゃんの腕をつかみロッカーの方に連れて行こうと引っ張り始めました。こうなるとはIちゃんも意地を張るしかなく、引っ張り合いになっています。「対応を間違ってしまった」と思いつつ、もう一度声をかけようとしたところ、Tちゃんが横からさっとIちゃんの帽子をとり、あっという間にIちゃんのロッカーに帽子を片付けてくれました。みんなあっけにとられました。Iちゃんもほっとしたのか、にやりと笑って問題は一気に解決。

「よかったね。Tちゃんにありがとうって言おうか」とIちゃんを促しました。でも、そんなに簡単に素直にはなれないのが3歳児。するとTちゃんが怒ったように「いいんだって。ありがとうなんて言わなくて。ありがとうなんて言わなくてもいいんだってば！」一番はっとしたのは私です。「ありがとうって言ってくれない！」と言うトラブルはたまに目にしますが、「ありがとうなんて言わせなくてもいい！」と怒る子に出会ったのは初めてです。「ありがとうなんて言われなくても困っている人を助けることが当たり前」ときっと思っているのでしょうか。なんて素敵！きっとすばらしく温かい家庭で育っているのだろうと感動です。もちろん、その日の職員終礼で即刻報告。先生たちの胸を熱くしたのです。

「ありがとう」が飛び交う幼稚園も素敵だけれど、ありがとうなんて思われなくても優しくし合う子どもたちが溢れている幼稚園。更なる100年後の未来に向かって、幼稚園の新たな目標です。

でも、やっぱりTちゃんに言いたい！！「ありがとう。みんなの心を温かくしてくれて、本当にありがとう！！」